



井川小学校 学校報

平成 29 年 8 月 31 日 第 11 号

みどりの風



新学校教育目標

目標をもち、課題を解決しようとする子ども

水害とツイッター 校長 六郷 博志

7 月末と 8 月末の 2 回にわたり、秋田県内は広い範囲で記録的な大雨となって水害や土砂崩れが相次ぎました。私の家は太平洋から 20m ほどの場所にありますが、堤防を超えようとする濁流を見て、パソコンなどを 2 階に移して洪水に備えたのは、生まれて初めての経験でした。そして、テレビやラジオでは詳細がわからないので、情報収集をしようとツイッターを利用したのも初めてのことでした。その後、そこに投稿された太平洋の上流から下流までの画像と文章を見てようやく安心すると同時に、情報化社会の進展という言葉を変えて実感することになりました。

今の時代は、ツイッターやフェイスブック、ブログやインスタグラムなど、一昔前では想像だにできない SNS の進化があり、一方ではプライバシーに関わることや SNS を使った犯罪など課題も山積しています。子どもの世界も無縁ではなく、ラインによるいじめなどはここ数年で何度もマスコミに取り上げられました。こうした状況でやはり大切なのは、情報モラルのしっかりした教育と、保護者と子どもの約束のもとでの利用。ますます進化する現状に、学校でもぜひ取り組んでいきたいと思っています。



全国学力学習状況調査(6 年生)の結果について

4 月 18 日に実施した調査について結果が国より送付されましたので、お知らせします。

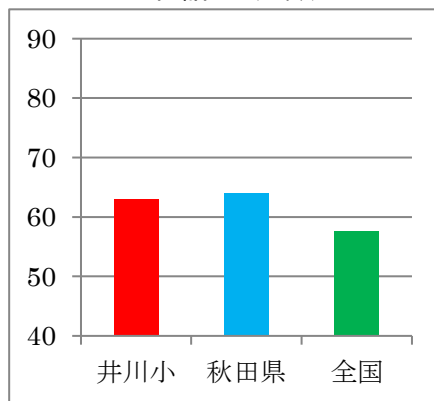
結果を受け、授業改善や子どもたちの生活指導に生かしてまいります。

□ 学力調査では、全ての教科で全国平均を大きく上回るとともに、県平均よりも平均で 4 ポイント上回るなど、どの分野においても全般的に良好な結果でした。ただ、国語では、「手紙の書き方」「小説の読解」、算数では「 $6 + 0.5 \times 2$ 」「度数分布表の読み方」などに課題が見られました。

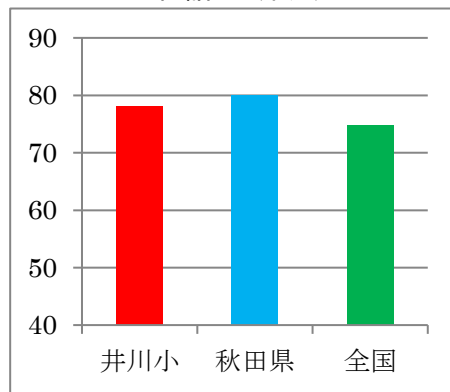
□ 学習状況調査では、学校への適応、自己有用感、地域との関わりなどで県平均を上回ったものの、社会への関心、家の人とのコミュニケーション、授業での話合いなどに課題が見られました。特に家庭学習の時間では、昨年に引き続き県や全国に比べ時間が大幅に下回っており、今後その解決に向けて取り組みを行ってまいります。

学力調査結果

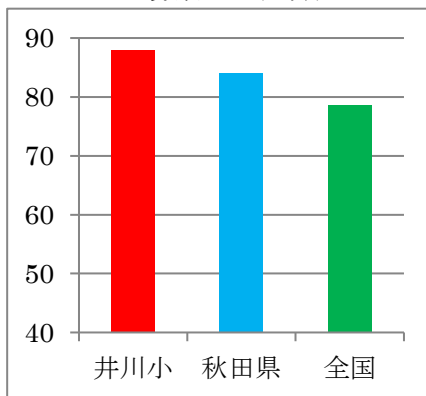
国語 A (知識)



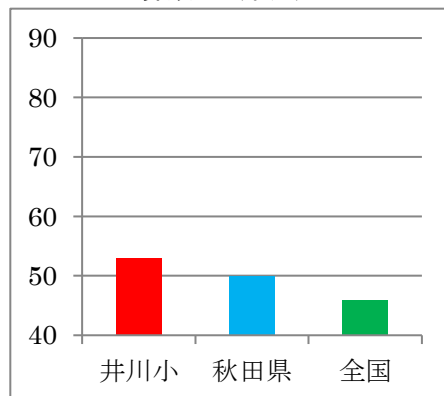
国語 B (活用)



算数 A (知識)



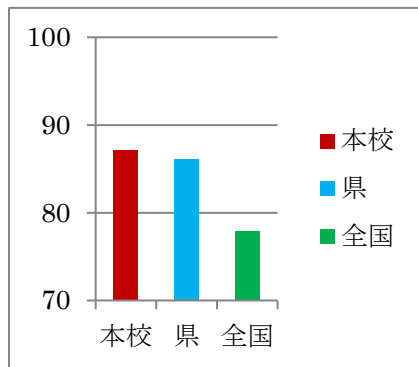
算数 B (活用)



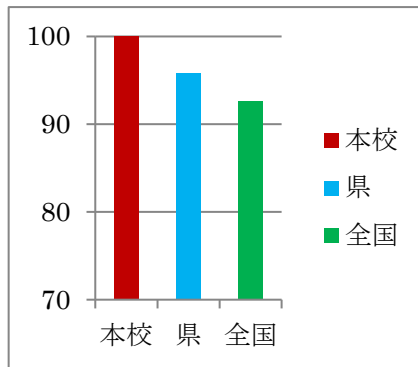
学習調査結果

○ 良好だった項目（「そう思う」と回答した割合）

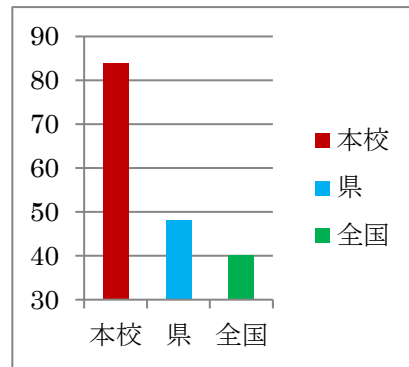
「自分にはよいところがある」



「きまりを守っている」

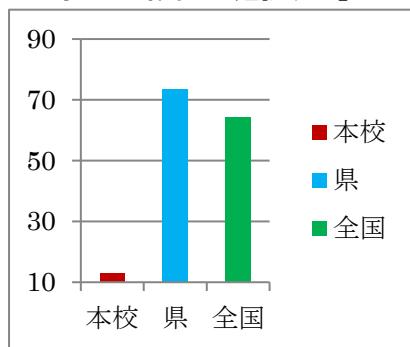


「地域の大人とよく関わっている」

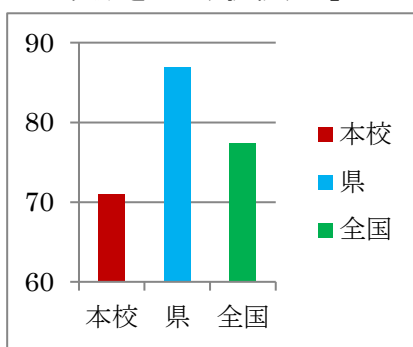


● 課題のある項目（「そう思う」と回答した割合）

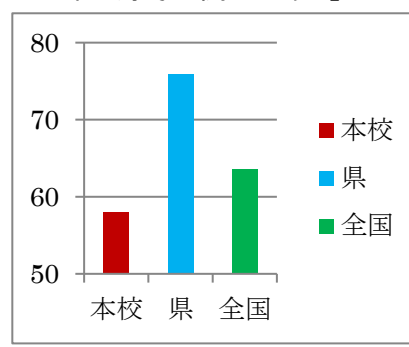
「家で1時間以上勉強する」



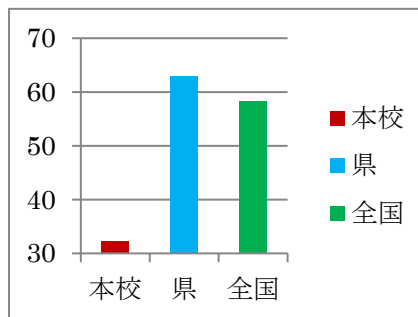
「失敗を恐れず挑戦する」



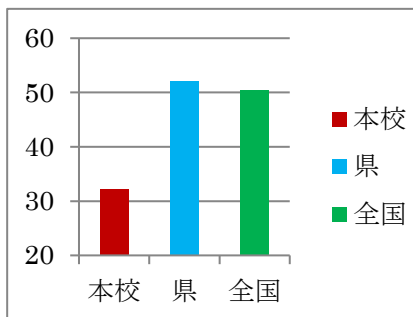
「社会事象に関心がある」



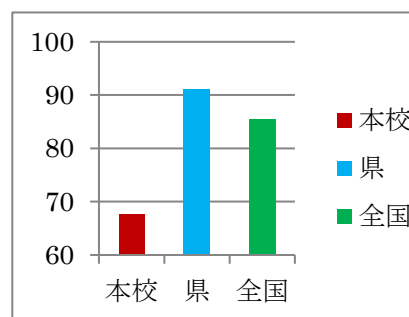
「ゲーム時間を親と決めている」



「家の人と将来について話す」



「話合いで自分の考えを持てる」



◇ 第8回 J A あきた湖東杯ミニバスケットボール大会(8月27日)

男子の部 敢闘賞 井川男子ミニバスケットボールスポーツ少年団
優秀選手賞 森田〇〇(6年)

女子の部 敢闘賞 井川女子ミニバスケットボールスポーツ少年団
優秀選手賞 遠間〇〇(4年)



栄光の記録

